

平成30年度 第6回行財政改革推進委員会 会議録（要旨）

- 1 日 時 平成30年10月24日（水）18：30～20：00
- 2 場 所 旭川市総合庁舎2階 秘書課第2応接室
- 3 出席者 秋山委員，梅津委員，川邊委員，篠原委員，廣田委員，増田委員
（事務局）総務部行政改革課 向井部長，松田課長，青葉主査，木村
（所管課）総務部公共施設マネジメント課 宮川課長，國本課長補佐，宮崎主査
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 会議資料
次第
平成30年度行政評価の実施について（答申案）
諮問書（写）
旭川市行財政改革推進委員会における調査審議について
- 6 議事要旨
 - (1) 平成30年度の行政評価に係る答申案について
事務局から答申案について説明した後に質疑応答を行った。特段の意見はなく，欠席した委員の意見も聞き，第7回の委員会で確定することとした。
 - (2) 旭川市公共施設等総合管理計画の推進について
全体のスケジュール並びに諮問及び諮問事項についての説明後，旭川市公共施設等総合管理計画 第1期アクションプログラム施設再編計画（案）の「文化施設」及び「スポーツ施設」の「現状を踏まえた施設保有の考え方及び機能の確保手法」について説明を行い意見等の聴取を行った。質疑の概要は次のとおり。

●文化施設について

（委員）

文化施設のほか，スポーツ施設にも共通することだが，広域連携を強化しながらスクラップアンドビルドを推進してほしい。広域連携により，観光面での効果を期待するとともに，施設の利用率向上にもつながるものと考えている。

（所管課）

文化施設の検討に当たり，特に大ホール機能については，道北を含めて意識することが必要。大規模改修あるいは建替えにより実現するまでには時間が必要だが，今後，現行の公会堂，市民文化会館，あるいは大雪クリスタルホール音楽堂を含めて，代替性の有無や優先度を意識しながら議論することが必要であると考えている。

（委員）

大雪アリーナを改修し，文化会館の機能を持たすことはできないか。

（所管課）

大規模なイベントの中には，大雪アリーナを活用している状況も生じており，スケートリンクとして使用していない期間は多目的な使い方をしている。

（委員）

旭川市も文化に力を入れていると思っているが，基本的な方針として，そういう部分にも力をいれるということを示したうえで，集約しながら，広く人を集められるような魅力ある

施設を整備してもらいたい。

(所管課)

音楽専用ホールという機能は、大雪クリスタルホールの音楽堂が担い、それ以上の規模のホールでは、コンサート、演劇、学会など多目的なものにならざるを得ないと考えている。

(委員)

施設の整備についても、メリハリがあった方がいいのではないか。旭川市は、いろいろな施設があるが、何が魅力なのかとなった時に、目玉となる施設が少ないことが気になっている。ぜひ、魅力のある建物の整備を検討してほしい。

(委員)

タウンミーティングに出た時に、いろいろな話が出ており、市庁舎に託児所を作って欲しいとか、文化会館についても、市役所の中にスペースを作って入れるなど、一緒に作ってしまっただけという意見もあった。ただし、単体でかなりの額のお金がかかるのに、一緒にして建てたら安くなるのか、金額的には厳しいものなのかなと思っている。

(所管課)

必要な機能を併せて整備するという考え方は施設再編の中でも持っているが、新庁舎整備と市民文化会館を同時期に整備することは財政負担の点から難しいと認識している。

(委員)

実際に使用する際には不便は感じないが、魅力ある施設とは言い切れない状況だと感じている。今後、大規模改修か建替えか手法は別にしても、検討する際には、うまく組み合わせ、旭川らしさ出していくということも視野に入れてほしい。個々を生かすだけでなくさらに高められるような部分で考えていただきたい。

●スポーツ施設について

(委員)

東光スポーツ公園複合体育施設について、北海道の支援を求めることは難しいのか。

(所管課)

財政状況はどこも厳しいものと思われる。財源として、国からの交付金があるが、その額を大幅に増額することは難しいとの指摘を北海道から受けている。

(委員)

カムイスキーリンクスについて、他のスキー場のように民間に委ねてしまうのが良いのではないか。

(所管課)

スキー場そのものについては、そのような考え方もあるが、カムイスキーリンクスについては、広域観光の拠点としての位置付けを持たせ、大きく育てていこうという視点も持っている。

(委員)

広域といってもつながっていないように思うし、観光の拠点といっても富良野市のスキー場に負けている。大会に対応するために残しているというイメージが強い。

(所管課)

施設再編計画において、施設の位置付けを「広域観光の拠点施設」として記載しており、今後、関連する動きを具体的に見せていくことが必要であると考えている。

(委員)

スポーツ施設としてスキー場としての機能だけではなく、広域観光の拠点としての機能を持っていることをまず広く認識してもらうことが必要。

(委員)

ニセコみたいにならないものか。

(所管課)

旭川は、空港があり、スキー場や近隣に温泉もあるため、滞在型のロケーションとして魅力を持っていると思っている。その部分を行政がどのような仕掛けをして、自立できる形で引き継いでいけるかどうか、民間事業者と連携しながら検討しているところ。

(委員)

インバウンドをいかに地域をあげて取り組んでいくのか、それに対して各金融機関もどのような支援をしていくか、という観点から関わっていると聞いているが、積極的に行政もバックアップしていただきたい。

(所管課)

施設保有量の最適化に当たり、旭川の可能性を広げる芽を残していくことも大切な視点であり、スポーツ施設は、その点からも進め方を意識していきたい。

(委員)

稼ぐ、稼げる観光というのも一つの命題であったと思うので、そこを民間、行政、金融機関が一体となって推進していかなければならないと考える。